



ひまわりライス通信

H30.11月
No.110

皆さんこんにちは、伊藤です。11月2日無事に集荷作業が終了しました。あとは、米バラ施設での調製だけとなります。気が付けば平成最後の年も残すところ後わずか。本当に時が過ぎるのが早いな〜と、毎年だけ感じています。(ω-) 今年度最後の通信元気にしてみよう (ノω)ノ+。



稲刈り後の田んぼには、稲株と稲ワラがどっさり溜まっています。これらは腐りにくいので、このまま放っておいても春までほとんど分解されません。



稲刈り後はなるべく早く気温が高くワラの水分の多いうちに土にすき込みます。そうすると微生物が活発に働いてワラを腐らせてくれます。



腐ったワラは土作りに効果があり、また土を反転させてひと冬、寒さをあてて土を凍みさせておくと雑草を抑える効果もあるんですよ。



この爪の長いのは、サブソイラといいます。地中約30~40cmの深さで亀裂をいれていきます。これを、心土破碎(しんどはさい)といいます。(ω-)ホウ



機械などで圃場を走り回ると、土がだんだん締まって、固い土層ができます。その固くなった層を壊して改善していきます。



心土破碎の効果は、通水性や通気性、排水性に根張りが良くなり、地耐力も上がっていきます。こうして来年に向けての土作りがもう既に始まっているんですよ。



一方米バラ調製施設では、玄米を品種・規格ごとに調製していきます。ちょうど搬入口に玄米が、流し込まれました。



搬入された玄米は電光掲示板に、生産者名と重量が表示されます。最高で、うちのラインでコンテナ1,800kgが8基、うちのラインで4基入ります。



そして、大型石抜機で石が取り除かれ、色彩選別機にかけられます。そして最後に磁石のテツキャッチャーで金属片を取り除いていきます。



万全を期し選別された玄米は、調整タンクに入れた後、自動給袋機で包装され30kgの紙袋を軽々と持ち上げ、綺麗に積み重ねられていきます。



各施設は光ファイバーで繋がれていて、各種情報はコンピュータ処理され管理しています。今年配属になった、高栄君。真剣な眼差しです。



今シーズンお付き合いいただきありがとうございました。+(ω-)ノ。来年も皆さんにとってより良い年でありますように♪また、来シーズンで(*^-)v

J A きたそらち北竜支所 営農課
直通 0164-34-2247 FAX 0164-34-2216
生産情報公表 J A S のHPアドレスは <http://www.hokuryu-mai.com/>